

マリンスキー・オペラ

ワレリー・ゲルギエフが贈る、マリンスキー歌劇場による
壮大なるオール・チャイコフスキー・プログラム!

2019年春
発売!

ワレリー・ゲルギエフ (芸術総監督、首席指揮者)
Valery Gergiev, Artistic and General Director

マリンスキー劇場芸術総監督、首席指揮者、ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団首席指揮者、チャイコフスキー国際コンクール組織委員会委員長、PMF芸術監督、
「白夜の星」音楽祭、ロッテルダム・ゲルギエフ音楽祭(オランダ)、モスクワ復活音楽祭などの
音楽祭を創設し、芸術監督、音楽監督として活躍。

マリンスキー劇場において数多くの世界的な名歌手を育成し、音楽界に送り出してきた。その采配のもとで同劇場はオブラおよびバレエのレパートリーを大きく広げ、現在では18世紀から20世紀までのクラシックの傑作をはじめ、現代作曲家の作品にいたるまで、幅広いレパートリーを誇っている。

06年には、火災に遭ったマリンスキー劇場アトリエ兼倉庫の跡地に新しいコンサートホールが完成。2013年にはマリンスキー劇場新館(マリンスキー-2)がオープンした。これによりマリンスキー劇場は、ロシア国内では初となる、劇場とコンサートホールを併せ持つ複合施設へと生まれ変わったのである。

ゲルギエフは07年~15年までロンドン交響楽団の首席指揮者を務めたほか、近年は、メトロポリタン・オペラ、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、ニューヨーク・フィルハーモニック、ロッテルダム・フィルハーモニー管弦楽団、ミラノ・スカラ座管弦楽団などと共演している。

「スペードの女王」

2019年 11月30日(土) 12月1日(日) 東京文化会館

「マゼツパ」(コンサート形式)

12月2日(月) サントリーホール



主催: 朝日新聞社 / ジャパン・アーツ 協力: マリンスキー・オペラ友の会

舞台写真: オペラ「スペードの女王」より

ジャパン・アーツぴあ 03-5774-3040 www.japanarts.co.jp